

「二つ芭紋」の入った太鼓、房がちよんまげというユニークさも評価された。

赤松さんは「赤穂義士たちが本懐を遂げるため、心を一つにした討ち入りの合図だった陣太鼓をイメージした」と話している。【小泉邦夫】



ひょうご 東西南北

陣 赤穂・観光キャラクター決定  
長)が募 仲間入りも目指すという。  
トキャラ 125点の応募があり、姫路市北平野  
二に決ま の靴デザイナー、赤松絵葉さん(28)の  
て観光P 作品が最優秀賞に選ばれた。  
ャラ、の 討ち入り装束で、頭は大石家の家紋

# 授産品販売 大盛況

# 被災障害者に希望を

東日本大震災で被災した障害者の授産品を販売する「メルシーバザール」が、神戸市兵庫区の商業ビル「神戸パークタウン」にオープンして1カ月が過ぎ、地元住民の人気を呼んでいる。手作りのせんべいやみそは売り切れ、発注が追いつかないこともしばしば。運営する同市中央区のNPO法人「誕生日ありがとう運動本部」(光岡丈一理事長)は「長く続け、被災した障害者への希望になれば」と話す。【村上正】

光岡理事長は震災後、交流があった福島県いわき市の作業所に電話する。そこで、同NPOはこれらの作業所から授産品と、施設が損壊し、運営が困難な状況にあること、戸市内でイベントを開いて販売を知った神戸パークタウンの協同組合が、岩手、宮城の3県の各作業所に連絡し状況を聞き取った結果、約30作業所で休止していたり、授産品の販売ルートを失うなど運営に支障を来し

ス、ハンガーなど200品目。1日に100品売れる日もあり、常に追加発注をする盛況ぶりとい



東日本大震災で被災した障害者の授産品を販売する「メルシーバザール」

う。店舗には神戸市内の作業所の利用者らも店員として働く。脳性マヒの障害がある、富田香織さん(52)「同市須磨区」は「自分たちも阪神大震災で水も電気もないまま暮らしていたらいいな」と、東北の人はもっと悲惨な体験をしているはず。同じ障害者の役に立ちたい」と声を張り上げ、販売している。

就労支援施設も来月オープンへ

運営NPO

同NPOは10月から、知的・精神障害者の就労支援施設も運営することになり、利用者を募集している。店舗での対面販売の実習も行う予定。メルシーバザールは毎週金曜と土曜の営業で、午前10時〜午後7時。問い合わせは同NPO(078-3660-1257)へ。

## 神戸パークタウン せんべいなど200品目

## 東日本大震災

## 台風被害支援に福島産米

## 国境なき災害支援隊

メンバーらは16日、トラックに物資を積み、被災地を視察し支援のあり方を考えたい」と話

業施設内に点在するポイントを探す。3カ所のうち5カ所を題材にしたクイズに答え、全問正解したチームは生田神社で優勝。×クイズに挑戦したチームは「街を観察すれば答えらるものと歩いて改めて街の魅力を知ってほしい」と話している。境内では東北地方の産展や宮城県塩釜市水揚げされたサンマ調理販売もある。申し込みは18日まで

8月29日、紛失書の整理し、紛失